

令和2年2月20日

久留米市議会議長 永田 一伸 様

議会広報委員長 早田 耕一郎

議員派遣報告書

本委員会は、会議規則第160条の規定に基づく派遣について、次のとおり実施しましたので、報告書を提出します。

記

- 1 日 程 令和2年2月5日（水）～7日（金）
- 2 派遣先 兵庫県丹波市：議会広報の取り組みについて
及び内容 京都府京都市：議会広報の取り組みについて
兵庫県姫路市：議会広報の取り組みについて
- 3 派遣議員 委 員 長 早田 耕一郎
委員長職務代理者 田住 和也
委 員 太田 佳子 森崎 巨樹
- 4 報告書 視察報告書のとおり
- 5 その他 随行 新村 利恵

視察報告書

委員会名	議会広報委員会
視察日時	令和2年2月5日（水） 午後3時00分 ～ 午後4時30分
視察先・概要	兵庫県丹波市 人口：約6万4千人 面積：493.21 k m ²
視察内容	議会広報の取り組みについて
選定理由	<p>丹波市の議会だより「たんぱりんぐ」は、平成17年に紙面をリニューアルし、高校生などの読者モニター会議を企画するなど積極的な住民参加を促している。</p> <p>本市議会では、来年度に向けて議会だよりのリニューアルを検討中であり、丹波市の取り組みを今後の参考とするため。</p>
調査概要	<p>丹波市議会において、林議長の挨拶に引き続き、議事総務課総務広報係 山崎主幹より議会広報の取り組みについての説明を聴取し、質疑応答を行った。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">＜視察の様子：丹波市＞</p>
調査内容	<p>丹波市議会では、平成17年に議会だよりの紙面をリニューアルし、「たんぱりんぐ」を創刊した。親しみやすい紙面づくりを目標に、「ターゲットは30代から40代の子育て世代の女性」、「めざすは5分で読破できる議会だより」、「常に読者目線を忘れずに」をポイントとしている。また、できるだけたくさんの市民の方を取材し、一人でも多くの方に紙面に登場してもらうことで、議会と市民との距離を近づけている。</p> <p>なお、高校生読者モニターの取り組みをしており、若い世代が議会を身近に感じるきっかけとなっている。</p>

<p>主な質問・応答</p>	<p>問：議会だよりは若い世代に読んでほしいが、高齢者にも読んでほしいとも思う。ターゲットが広すぎると記事の内容がぼやけてくると思うが、いかがか。</p> <p>答：記事の内容をどう伝えていいか困ったときに、ターゲットに戻ることにしている。ターゲットを30代～40代の子育て世代の女性に絞ることで、全世代に読んでもらえる広報紙となる。</p> <p>問：議会だよりに対する若い世代の反応はいかがか。</p> <p>答：リニューアル後、周囲からは読みやすくなったと聞く。読モ会議の高校生の意見を取り入れてリニューアルしているので、高校生は自分たちの意見が通ったという実感はあるだろう。</p> <p>問：コンビニ配布の効果についてうかがいたい。</p> <p>答：コンビニには600部ほど配布しており、手に取ってもらっている。コンビニ配布は、市の広報紙が先行して行っており、選挙権が18歳になった時に議会だよりも配布を始めた。</p> <div data-bbox="464 1003 1267 1547" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">＜集合写真：丹波市議会議場＞</p>
<p>その他（意見・感想）</p>	<p>議会広報紙については、記事の選定や、文章の書き方に関して、読者目線での広報紙づくりを心掛けてあり、ターゲットを絞るなど目指すべき方向やコンセプトが明確であった。</p> <p>また、高校生読者モニターの取り組みを行ったり、市民が紙面に多く登場したりするなど、議会と市民の距離を近づけるような工夫が随所に見られ、今後、本市の市議会だよりをリニューアルしていくうえで、大変参考になった。</p>

視察報告書

委員会名	議会広報委員会
視察日時	令和2年2月6日（木） 午後1時30分 ～ 午後3時
視察先・概要	京都府京都市 人口：約146万3千人 面積：827.83k㎡ 特記事項：県庁所在市、政令指定都市
視察内容	議会広報の取り組みについて
選定理由	<p>議会広報紙では、マスコットキャラクターを使用するなど親しみやすい紙面づくりが行われている。また、ホームページやフェイスブック、ポスター・チラシなど、さまざまな広報媒体を使った取り組みが展開されている。</p> <p>さらに、子ども議場見学や、親子ふれあい議場見学会を積極的に開催されており、議会を身近に感じてもらい、関心を持ってもらうような取り組みが行われており、今後の本市の取り組みの参考とするため。</p>
調査概要	<p>京都市会事務局調査課 藤村広報担当課長の挨拶に引き続き、藤村広報担当課長、吉岡総務課長より議会広報の取り組みについての説明を聴取し、質疑応答を行った。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">＜視察の様子：京都市＞</p>
調査内容	<p>京都市会では、これまでに発行回数の増加や企画記事の掲載、特集記事号の発行など、議会広報紙のリニューアルを重ねてきた。</p> <p>ホームページでは、「見やすさ」、「わかりやすさ」、「親しみやすさ」などを向上するため、平成29年3月にトップページ等のデザインを</p>

	<p>改善した。その結果、見たいページがすぐに見つけられるようになり、アクセス数も増加傾向にある。</p> <p>市会日程等を周知するポスター・チラシは、市バス・地下鉄の車内広告、市内小中学校・高校・大学など約 2,000 箇所に掲出し、単なる日程の周知ではなく、市会の取り組みも伝える内容としている。</p> <p>親子ふれあい議場見学会の取り組みについては、小学4～6年生とその保護者を対象に実施し、見学会に参加したことで「市会に興味を持った」「会議を傍聴してみたい」等の意見が出された。</p>
<p>主な質問・応答</p>	<p>問：市会日程周知ポスターは、どのように作成しているか。</p> <p>答：市会運営委員会の委員の意見を伺い、内容を決定している。</p> <p>問：市会だよりに漫画が掲載されているが、どのようにして作成しているか。</p> <p>答：漫画のイメージを業者に伝えて、協議を行った上で作成してもらっている。</p> <p>問：市会だよりの特集記事は、どのようなことを意識して作成しているか。</p> <p>答：写真やイラストを多くして、見やすさを心掛けている。大胆なレイアウトで、ページをめくってもらえることを意識している。</p> <div data-bbox="461 1227 1299 1727" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">＜集合写真：京都市＞</p>
<p>その他（意見・感想）</p>	<p>市バス・地下鉄の車内広告、小中学校や高校、大学へポスター・チラシの配布は、多くの市民に議会に興味を持ってもらえるための効果的な取り組みであると感じた。フェイスブックも有効に活用されており、本会議のテレビ中継などの先進的な取り組みもあり、今後の本市での参考としたい。</p>

視察報告書

委員会名	議会広報委員会
視察日時	令和2年2月7日（金） 午前10時30分 ～ 午後0時
視察先・概要	兵庫県姫路市 人口：約53万人 面積：534.35k㎡ 特記事項：中核市
視察内容	議会広報の取り組みについて
選定理由	情報発信の手法として、議会広報紙だけでなく市議会PRポスターや市議会PRビデオを作成されており、本市の今後の取り組みの参考とするため。
調査概要	<p>姫路市議会において、梅木副議長の挨拶に引き続き、議会広報の取り組みについて調査課の村田主任より説明を聴取し、質疑応答を行った。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">＜視察の様子：姫路市＞</p>
調査内容	<p>姫路市議会では、市議会PRポスターを作成し、地域の掲示板や公共施設に掲示している。また、市議会PRビデオを作成し、YouTubeで視聴できるほか、市内の中学校や高等学校にDVDにして配布している。</p> <p>また、ケーブルテレビや地上波、ラジオで本会議や定例会の日程をお知らせする放送を行っている。</p> <p>議会広報紙については、紙面構成の見直しや掲載項目をふやすなど読者増に向けた取り組みを続けている。</p>
主な質問・応答	<p>問：市議会PRポスターはいつから配布し、どのようなところに掲示しているか。</p> <p>答：平成17年から始めており、地域の掲示板1,200カ所に掲示</p>

してもらっている。

問：市議会PRビデオは、高校の公民の授業で活用できると考えるが、いかがか。

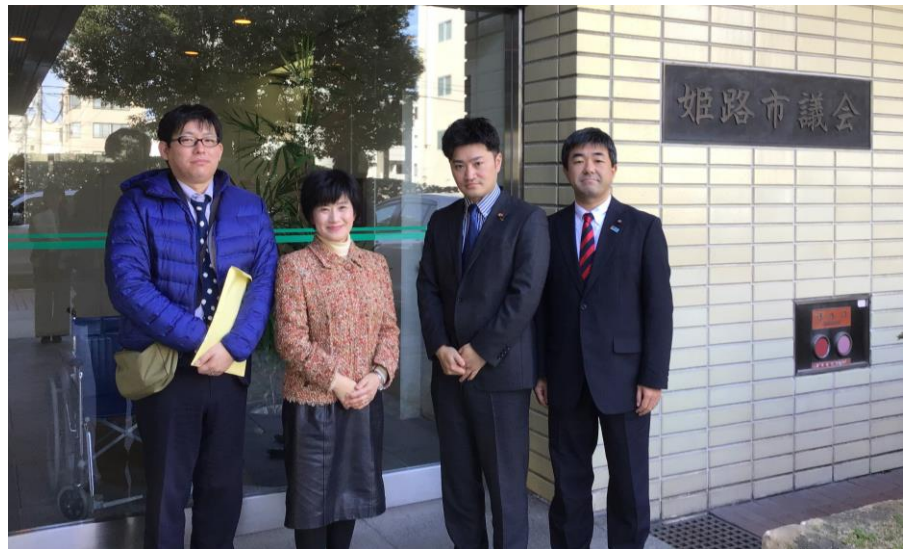
答：市議会PRビデオについては、市内の中学校や高等学校など64校にDVDを配布し、主権者教育に活用されている。ほかに、高校生議会の取り組みも行っている。

問：高校生議会には何名ほど参加しているか。また、その効果はいかがか。

答：高校生議会には、今年度は24名の高校生が参加した。市議会が何をやっているかを知るきっかけになっており、身近なテーマから質問を出してもらっている。

問：議会だよりには、子供が多く掲載されているが、どのような考えがあるのか。

答：子供の写真が掲載されると、保護者や周囲の方が喜ばれ、議会だよりを手取るきっかけになっていると考えている。



<集合写真：姫路市>

その他（意見・感想）

広報紙の発行のほか、市議会PRポスター、新聞広告や市議会PRビデオの作成、新聞広告など、様々なツールを活用した広報が幅広く実施されていた。

特に、市議会PRビデオについては、市議会の仕組みや役割をわかりやすく紹介しており、主権者教育での活用が進んでおり、若い世代に議会へ関心を持ってもらうための手法として大変有効であると考えている。